

大町病院サポーターの会会報

No91

2022 年 9 月 発行
大町病院サポーターの会
発行責任者降旗剛

ワクチン接種は積極的に受けましょう
医療従事者はもう限界です



県は8月8日「医療非常事態宣言」を発表し新型コロナ第7次ピークに向かう患者の推移に警鐘を鳴らしました。8月22日現在勢いは一向に収まらず、感染者向けに用意されている520床の使用率は21日現在68.1%と過去最高を示しました。宣言を出した後は1日当たりの新規感染者は2000～3000人を超える日が続出、入院者は587人、中等症の150人も過去最高でした。県は病床を増やそうと考えてはいますが医療従事者の感染が拡大し対応が難しいとしています。8月22日時点で入院を含む療養者は2万3638人。うち自宅療養者は1万9090人。大町病院も医療現場はひっ迫しており、患者が30～40人を超える日も数日続いています。藤本圭作病院長を先頭に職員総出で対応しているのが現状です。

私たちができる対応策は手洗い・消毒の励行、ワクチンの接種、人との対話はマスクをする、飲酒などは大きな声を上げない、密閉・密集・密接を避けるなど、しっかりと考えて行動することが重要となっています。今でも散見される「ワクチンなんかしなくてもいい。」などと他人に触れ回ることは厳に慎みましょう。かかった場合の場合は医療従事者の負荷がさらに増します。それはまわりまわって病気の市民にも影響します。事態の深刻性、重大性に早く気が付いてください。

医療に負荷をかけないために

新型コロナの感染拡大が止まらないことから、県は「B A. 5 対策強化宣言」を出しました。病床利用率と新規感染者を減らすことが目標で、重症化リスクが高い人などは、感染リスクが高い場所を避けるよう求めています。全県に対し 8 月 24 日から 9 月 4 日までを期限に出した「B A. 5 対策強化宣言」。県内の確保病床利用率は 23 日夜の時点で 64.8%と、医療提供体制はひっ迫した状態が続いていて、宣言は病床利用率と新規感染者数を減らすことを目標にしています。入院患者を増やさないため、県は重症化リスクの高い人に 4 回目のワクチン接種を呼びかけているほか、同居者や身近で接する人にも感染リスクが高い場面や場所を避けるよう求めています。また、外来診療の負担を軽くするため、軽症の場合はあわてて受診せず、自己検査を呼びかけています。

金子一明医師は語る「ワクチンの有効性」大きい(FB より)

空気感染するデルタ株は、一人の感染者が何人に感染させるかとい基本再生産数が $R0$ 6 以上と見積もられています。オミクロン株は更に高く 9.5 (5.5~24) とされています。(PMID : 35262737) (アドレス) <https://jamanetwork.com/journals/jama/fullarticle/2783478>

ワクチンの有効性（発生予防効果）はデルタ株でも 88%という数字が国立感染症研究所から出ています。重症化や入院の予防としては 96%の有効率です。なお、今流行のオミクロン株については 85%以上の有効率となっています。(新型コロナワクチン Q&A : オミクロン株にも追加 (3 回目) 接種の効果はありますか) (アドレス) <https://www.gov.il/en/departments/news/06072021-04> ワクチンを打てる人は打っておいたほうが良いですよ。

若い人でも重症化や命を落としている人がたくさんいます。

軽症であっても、認知症様の症状「brain fog」（脳の霧）を訴える人が半分以上います。

ワクチンを打っていれば救える命がたくさんあります。自分と周囲の人を守る意味でのワクチンは重要です。

今日は予定を変えて朝 6 時から出勤 8 月 FB

たくさん、医療者が傷ついている。コロナはただの風邪、マスクは有害、ワクチンは必要ない。そのつけはたくさんの死者と有病者と入院者が出て、すべて医療者の負担となっている。この田舎でもスタッフが被弾し、病棟は埋まりつつあり、外来は溢れ、トップまで動員した災害モードとなっている。政治のトップも口だけ、番長の評論家も汗は一つもかいていない。優しい気持ちを持った医療者ほど傷つき、休みもなくなり、走り回る。

コロナ対応を行っている内科 笹澤裕樹医師からの一言

コロナで入院した患者さんのご家族から「お金をもらってコロナの対応をしているから良いですね」という言葉がありました。

これは、涙を流しながらコロナ対応をしている医療従事者の心を折る配慮のない一言です。そもそも、コロナの対応を続けることは、経済活動としてペイしません。労力や出費ばかり多く、経済的に効率の良いやり方をとるのであれば、発熱外来や入院を受け入れることを辞めるのが一番です。

そうしないのは、ひとえに大北で唯一のコロナ入院施設が大町病院であり、最後の砦だと思って

いるからです。

市民の方々も様々な制約を求められて2年以上となりますが、そんな今だからこそ、過去最大の感染者数に対応している医療従事者に、少しでも良いので思いやりの心を持っていただきたいと思います。

前大町病院勤務の五味志文（五味病院）院長 8月FB

発熱外来をやってて、やっぱり実感する事が一つ。

一口に COVID19 と言いますが、ワクチンをしているかしていないかで、まるで別の感染症のように違います。やっぱりワクチンをしてない患者さんの方が「ぐったり」してる人が多いです。やっぱりワクチンは大事だなあ。

市民みんな応援しています！

医局・看護部へモロコシとナス等の差し入れ



新型コロナでひっ迫している大町病院の担当部へトウモロコシとナスの差し入れをしました。

8月12日、降旗剛会長が昨年に引き続き地元八坂産のトウモロコシ「ゴールドラッシュ」を医局へ60本、看護部へ40本差し入れしました。ナスは社の篤農家、高橋六郎さんが8月9日、15Kg、9月9日5kgを医局へ、8月16日8Kg、看護部へ差し入れしてくれました。8月23日と25日には高橋次長がコロナ対応で忙しい看護部にホウリを30本ほど差し入れしました。

大町病院経営は大幅の黒字に

大町市は8月23日令和3年度大町病院事業会計の決算案を公表しました。入院・外来ともに患者数の増加や、経営健全化計画に基づく経営改善策などにより純利益が4億492万円と3年連続の黒字となった。資金不足額が増大する要因となっていた一時借入金も完済となりました。

医業収益は、受診控えが徐々に緩和されたことなどにより3億4000万円余増加し43億3500万円となった。一方、医業費用は46億1007万円となり、差し引き2億7506万円の損失でした。また、医業外収益は、市からの補助金や感染症対応に対する国・県からの補助金などにより8億7393万円、医業外費用は1億8536万円となり医業外利益は6億8856万円となりました。この結果、経常利益は4億1350万円の黒字となり、純利益も4億492万円と、それぞれ4億円を超える利益を計上した。患者数は入院5万9886人（2.3%増）、外来9万6290人（5.2%増）と増加しました。計画策定時に約14億円に上った一時借入金を完済し資金不足比率も0%に改善するなど一定の効果が認められたとして計画を終了。本年度中に新たな経営強化プランを策定し引き続き経営の健全化を図ります。

7月にも差し入れ相次ぐ

ありがたいメッセージを添えて



7月19日には玉ねぎ60kgを医局に差し入れしました。「甘70」という品種で比較的大型で丸型のものです。この品種はやや大き目揃いのものに育ち、管理は楽ですが、種や苗の入手が難しく苦勞です。保存は12月くらいまでですが美味です。

7月26日
ジャガイモ
30kgを医
局へ差し入
れしました。



美味で調理方法も幅ひろい「きたあかり」です。ジャガイモは種芋1つから数倍の収穫がある作物で、保存期間も長く、春先まで使えます。

今年は種芋を植えて、芽が出てきたところをはぐれサルに襲われ、芽の下にある種芋を掘り出され食べられてしまいました。種苗店に探してもらいましたが、すでに時季が終了した後でどこにも種がありません。そこで昨年が残った小さな芋を植えてみました。結果は、芋はなりましたが大振にはならず、手のひらに握れる、調理にはほど良い大きさのもの止まりでした。

早朝より大勢で花壇の草取り・草刈り・剪定 病院の環境整備に汗流す 協力ありがとう





8月7日（日）午前6時30分より花壇の草取り、草刈り、生け垣の剪定作業に参加いただいた皆さんは青木俊樹先生、高木哲先生はじめ次のとおりです。

青木俊樹 高木哲 川上晴夫 北澤好泰 降旗いずみ 降旗菜穂子 藤澤祐子 西澤喜吉 西澤秀一
相澤陽介 曾根原富美恵 飯島真奈美 牧瀬明美 武井康訓 武井晴明 鷺沢明美 平林偉美子
藤沢大輝 牧野秀紀 等々力久志 鈴木友子 近藤さと美 渡辺早よき 井沢純子 山崎由香
佐藤友里 竹村公亮 田中愛美 五味めぐみ 岡本亜希子 丸山聡美 飯田駆 平林祐子 田中雄貴
山口悦子 西澤三千代 長澤奈美 井出好美 小浪和正 若林茂男 清水香代子 鷺沢徳治 渋田見博
降旗剛 赤羽健次 松田英子 大日向明 近藤さと美 相澤文人 高橋博久 清水あさひ

ご協力ありがとうございました。また飲み物を病院職員労働組合様よりさしいれしていただきました。

憩いのガーデン「小道」 花が満開になりました



南棟入口に造られた癒しのガーデン「小道」は、職員ガーデン部の皆さんが手入れをし見事な野菜と花畑になっています。野菜はトマト、ナス、きゅうり、オクラ、菊芋、ささげ、しし唐等、花は 30 種類の花が植えられ色とりどりに咲かせています。すでにトマトやきゅうりは何度か収穫をしたようです。この小道は入院患者や車いす利用患者の散歩コースとなっていて好評のようです。なお花はラ・カスタ様より 140 本が届けられ、部員が植え込みました。水くれもガーデン部の皆さんがやっています。ここにはメダカも水槽で泳いでいます。まさに癒しの庭となりました。ガーデン部の皆さんご苦労様でした。



サポーターの会専門部 正・副部長体制きまる 会員の皆さん専門部に積極的に参加ください

総会で4つの専門部体制を確立し任務分担を進めることを決定し第1回幹事会では担当者を配置しました。第2回幹事会で、正副部長をだれにするか協議の結果、長年会運営を中心となって進めてきた副会長と担当業務に精通した役員にお願いすることになりました。その結果次の皆さんが正・副部長を担っていくことになりました。また会員の中から部員になっていただき部会を活性化していくこととし、各部とも数人の会員に入部していただくこととなりました。役員が要請に伺います。その節は宜しくお願いします。

総務部長 渋谷見博、**副部長** 田中栄一 **部員** 内山博、川上晴夫 丸山令江子 勝野礼二
松尾忠久 西村彦一 川上洋 酒井孝芳 西山雄基

環境部長 柳沢英幸 **副部長** 西澤和保 **部員** 中島一郎 若林茂男 嶋田元実
太田美知子 北澤孝一 篠崎久美子 清水あさひ 興国和美

交流部長 海川明文 **副部長** 大日向明 **部員** 相澤文人 丸山則子 横山雅志
北澤好泰 赤羽健次

広報部長 小浪和正 **副部長** 塩原義夫 **部員** 伊藤芳行 井出好美 鈴木幸佳
吉岡久人 鳥羽嘉明

お知らせ

剪定と草とりは10月2（日）9時に（小雨決行）

10月2日サポーターの会は花壇の草取りと庭木の剪定、プランターの片付けを行います。
道具は会で用意します。軍手をお持ちください。集合は病院玄関前です。

キノコ狩り交流会は中止に

キノコ狩り交流会は新型コロナ感染状況と医療現場の繁忙のため今年度も中止とします。

会費納入・新規加入者（順不同・敬称略）

令和4年9月6日現在

個人新規加入 北澤好泰 牛越光夫

個人会費 北村桂一 北村矢永子 北村明子 鷹巣守 勝野礼二 仁科馨 佐藤千枝子

清水慎弥 清水香代子 川上佐貴子 高橋博久 竹村梅次郎 小林英樹 勝野健一

北澤豊繁 北沢久男 平林操 中島喜一 橋井弘治 松澤貞一 矢口静人 志賀一夫

丸山好昭 丸山英子 中原里美 藤巻佳織 藤巻秀卓 山口悦子 平林千里

曾根原叶子 島田剛志 小林治男 降旗興平 清水俊邦

団体会費 地場の郷 大町市体育協会 明日香荘 (有)小柳建設 明野施工 キハダ鮎本舗
銀松苑 皆さんありがとうございました。

※インターネットで「市立大町総合病院サポーターの会」を検索すると会報1号～90号までカラー写真でご覧になれます。